

2015年2月9日

野村アセットマネジメント株式会社

【ご参考資料】



## 「野村グローバルボンド投信(通貨選択型)」 設定来の運用経過と今後の運用方針について

### 設定来の運用経過について

設定日:2014年8月11日

2015年1月30日現在	基準価額	基準価額 (分配金再投資)	分配金累計 (設定来)	騰落率※ (設定来)
Aコース (米ドル売り円買い 年2回決算型)	9,873円	9,873円	—	-1.3%
Bコース (為替ヘッジなし 年2回決算型)	11,347円	11,347円	—	13.5%
Cコース (米ドル売り円買い 毎月分配型)	9,840円	9,880円	40円	-1.2%
Dコース (為替ヘッジなし 毎月分配型)	11,299円	11,340円	40円	13.4%
Eコース (米ドル売り選定通貨買い 年2回決算型)	10,676円	10,676円	—	6.8%
Fコース (米ドル売り選定通貨買い 毎月分配型)	10,380円	10,661円	280円	6.6%

※基準価額(分配金再投資)の騰落率

(注) 基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

ファンドの設定来(設定日:2014年8月11日)、ハイ・イールド債券市場およびバンクローン市場は、ウクライナ情勢を巡るロシア制裁強化や原油価格の急落を背景にリスク回避姿勢が強まり、下落基調となりました。一方、為替市場においては、米国の利上げ観測から米ドルが買われた(米ドル高/円安)ことや、日本銀行の追加金融緩和実施などから円安が進行しました。

基準価額は設定来で、Aコース、Cコース(米ドル売り円買い)は下落しましたが、Bコース、Dコース(為替ヘッジなし)、及びEコース、Fコース(米ドル売り選定通貨買い)は上昇しました。(2015年1月30日現在)

次頁以降で、2014年の投資対象市場の動向と今後の運用方針についてご説明いたします。

上記は過去の運用実績であり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

2014年の市場動向について

●ハイ・イールド債券市場

OPEC(石油輸出国機構)やIEA(国際エネルギー機関)が2015年の原油需要見通しを引き下げたことなどを背景とした原油価格下落、それによる投資家のリスク回避姿勢の高まりなどを受けて、米国ハイ・イールド債は軟調に推移する局面もありましたが、2014年の年間騰落率は+2.5%となりました。

●バンクローン市場

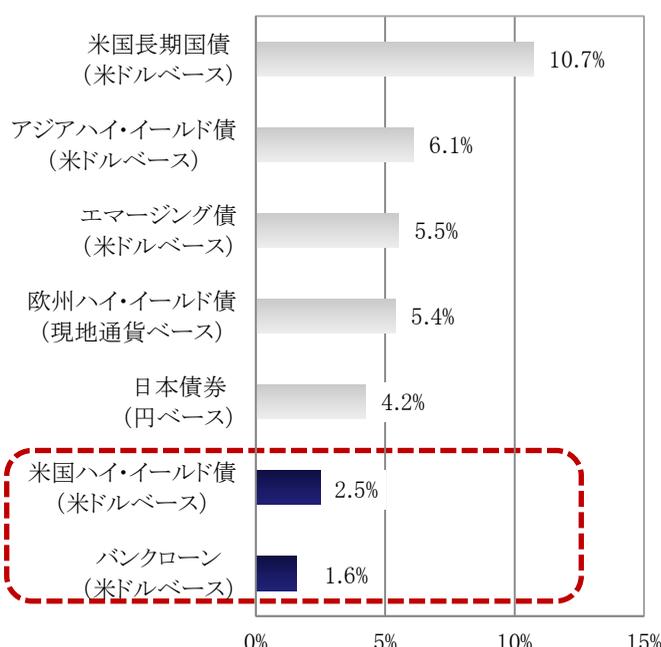
バンクローンは、1.6%の値上がりとなりました。原油価格が下落し、世界経済に対する不透明感が高まったことや、ギリシャの政治リスクが再燃したことなどから、バンクローンは軟調に推移する局面がありましたが、2014年の年間騰落率ではプラスとなりました。

●通貨セレクトコースの選定通貨(2014年12月末現在)

メキシコペソ	インドルピー	ブラジルレアル	トルコリラ	南アフリカランド
産油国であるメキシコの経済の不透明感が懸念されましたが、対円では、+0.5%と小幅な推移となりました。	金融政策が奏功し、インフレ率が低位に推移していることなどが好材料となり、対円で+11.4%となりました。	原油価格下落に伴う資源国通貨に対する売り圧力の高まり、ルセフ政権の政策不透明感から対円で+1.1%と小幅な値動きとなりました。	原油価格下落によるリスク回避の高まりなどが下押し圧力となりましたが、対円では+4.6%となりました。	原油価格下落に伴う資源国通貨に対する売り圧力の高まりから軟調に推移していたものの、対円で+3.2%となりました。

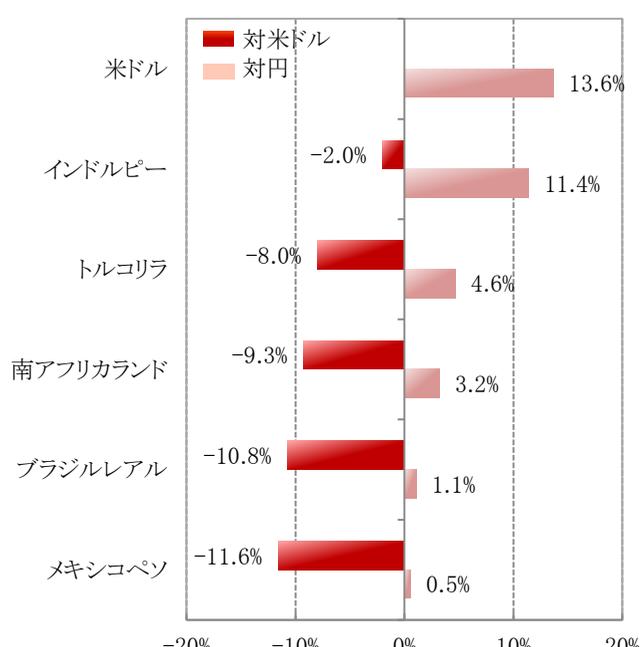
●債券指数

2013年12月末～2014年12月末の騰落率



●為替

2013年12月末～2014年12月末の騰落率



データについては、6ページの「当資料で使用したデータについて」をご参照ください。

(出所)ブルームバーグデータより野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー株式会社の情報を基に野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等を実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますので、この他に為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。 2/9

今後の運用方針

- 米国市場においては、FRB(米連邦準備制度理事会)によるQE3(量的金融緩和第3弾)の終了や労働市場の改善傾向などを受けて利上げが予想されており、ハイ・イールド債券市場に関しては少なからずその影響を受けると考えます。一方、バンクローン市場に関しては、企業の弁済順位の高さや変動金利という性質から、金利上昇時や経済の先行きが不透明な際にも底堅く推移すると考えます。
- 欧州市場においては、ECB(欧州中央銀行)が大規模な量的金融緩和に踏み切りましたが、今後の追加金融緩和にも積極的な姿勢を取ることが考えられるため、ハイ・イールド債券市場およびバンクローン市場は底堅く推移すると考えます。

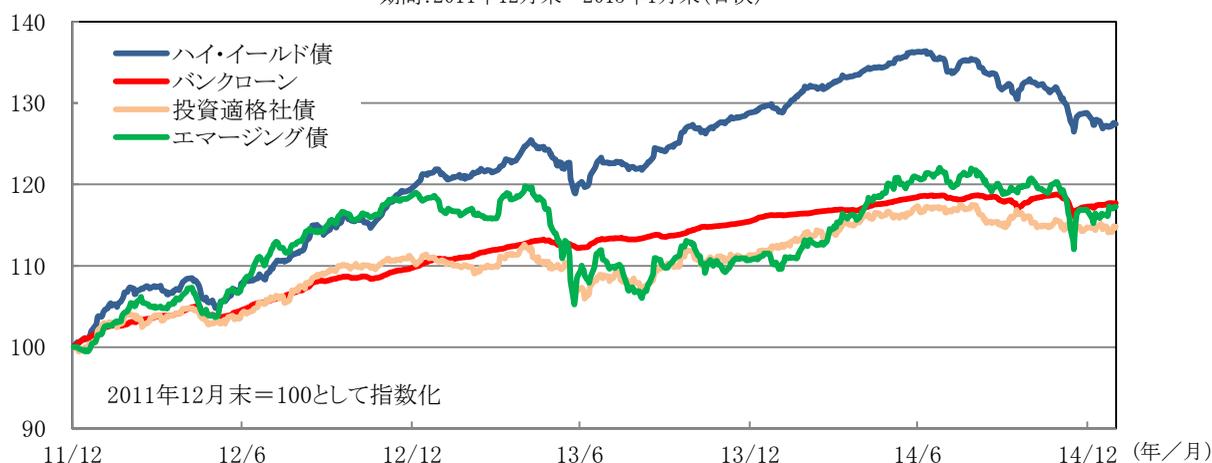
	バンクローン	ハイ・イールド債
格付	一般的に、投機的格付	
金利	一般的に、変動金利	一般的に、固定金利
弁済順位	相対的に優先	相対的に劣後
担保	あり※1	多くは無担保
デフォルト時の平均回収率※2	71.6%	51.2%
利回り※3 (課税前、2015年1月末現在)	5.4%	6.5%

※1 バンクローンは担保が設定されているものが一般的ですが、担保が設定されていないものもあります。また、必ずしも設定された担保にて融資の全額が保全されるものではありません。  
 ※2 平均回収率は、デフォルトの30日後の価格(額面を100とした場合)の平均値であり、2014年(12月末現在まで)の数値です。出所:JPモルガンの2015年2月5日付レポート  
 ※3 バンクローン:S&P/LSTAレバレッジド・ローン・インデックス、ハイ・イールド債:BofA・メリリンチ・グローバル・ハイ・イールド・コンストレインド・インデックス  
 左記は、バンクローンおよびハイ・イールド債の一般的な特徴を簡易的に示したものであり、すべての特徴を網羅したものではありません。また、すべてのバンクローンおよびハイ・イールド債が左記の特徴に合致するとは限りません。

(出所) 各種情報、ブルームバーグ、JPモルガン、S&P等のデータを基に野村アセットマネジメント作成

● 各資産の指数(米ドルベース)

期間: 2011年12月末~2015年1月末(日次)



データについては、6ページの「当資料で使用したデータについて」をご参照ください。

(出所)ブルームバーグデータより野村アセットマネジメント作成

ファンドの投資対象である外国投資信託「ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンド・グローバル・ボンド」の各副投資顧問会社の「2015年の市場見通しと運用方針」について、次頁以降にてご説明いたします。

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
 また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

各マネージャーが考える「2015年の市場見通しと運用方針」について

ハイ・イールド債戦略

NCRAM

ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネージメント・インク

2015年のハイ・イールド債について、原油価格動向に慎重ながらも前向きな見通しを持っています。基本シナリオは、2015年後半から原油価格は落ち着き、その後上昇を始めると予想しています。このため、当面、エネルギー・セクターを除けば、ハイ・イールド債市場の見通しは良好であると見ています。

2015年の米経済成長率が3%程度で見込まれていること、FRBによる利上げはもう少し先であること、そしてデフォルト率が低いことが主な理由です。米経済の緩やかな成長を前提に、エネルギー・セクターを除くデフォルト率は1~1.5% (エネルギーを含む場合は2~2.5%) の範囲に留まると考えています。



USA Investment Management, LLC  
Aegon USA Investment Management, LLC

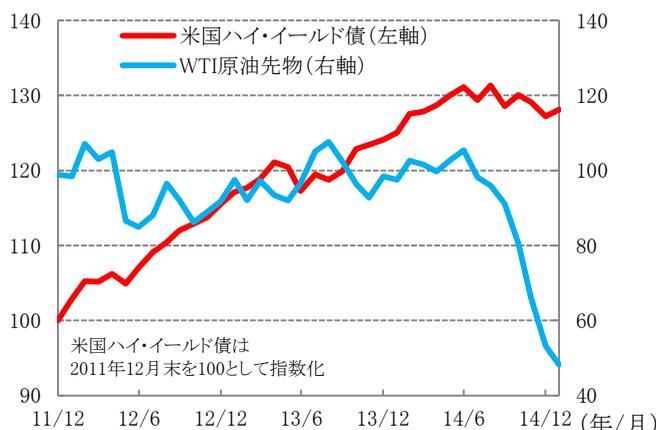
2015年のハイ・イールド債の年間リターンは5~7%を想定しています。商品、エネルギーなどの一部のセクターを除き、ファンダメンタルズ(経済の基礎的諸条件)は良好であると考えます。

一方、原油価格の下落は一部の銘柄のデフォルト(債務不履行)などを含め、大きな影響を及ぼす可能性もありますが、その場合でもデフォルト率は長期的な平均値以下である2~3%を想定しています。

バリュエーション的には、2014年にスプレッド(国債との利回り差)が拡大したことから、2015年は、仮に金利がある程度上昇したとしても、十分なリターンを取ることが可能であると考えています。

【図1】米国ハイ・イールド債と原油の価格推移(米ドルベース)

期間:2011年12月末~2015年1月末、月次



米国ハイ・イールド債:BoFA・メルリンチ・USハイ・イールド・コンストレインド・インデックス  
(出所)バンクオブアメリカ・メルリンチ、ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

【図2】米国ハイ・イールド債のスプレッドとデフォルト率の推移

期間:2011年12月末~2014年12月末、月次



(注)スプレッドは米国ハイ・イールド債券と米国長期国債との利回り差  
米国ハイ・イールド債:BoFA・メルリンチ・USハイ・イールド・コンストレインド・インデックス、米国長期国債:BoFA・メルリンチ米国10年国債インデックス  
・デフォルト率はバンクオブアメリカ・メルリンチの基準による数値です。  
・デフォルト率の定義=(過去12ヵ月間にデフォルトした債券発行体数)/(同期間の債券発行体数)  
※長期的な平均デフォルト率は、2005年12月末~2014年12月末の期間となります。  
(出所)バンクオブアメリカ・メルリンチのデータを基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー株式会社の情報を基に野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますので、この他に為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。

バンクローン戦略

GUGGENHEIM

Guggenheim Partners Investment Management, LLC

2015年は、利上げの可能性から資金流入が期待できる米国を引き続き選好します。

一方、原油価格や為替のボラティリティ(リスク)の上昇により米国株が下落する可能性も視野に入れ、高格付け資産に少しずつシフトしていく必要性があると考えています。

また、原油価格の下落などによるマクロ経済の乱高下、最悪ケースのシナリオなどに対して備えておく必要があり、足元でエネルギー・セクターに対する配分は減らしています。



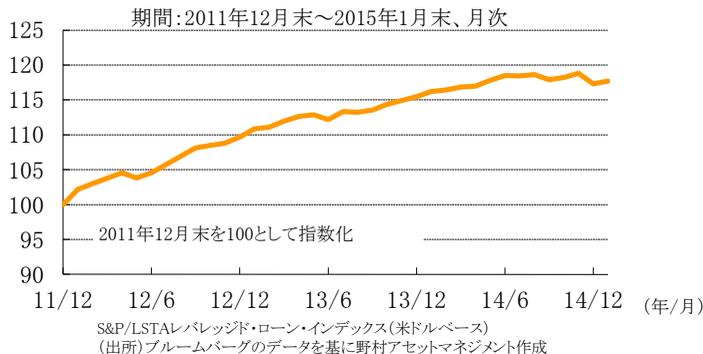
Symphony Asset Management LLC.

バンクローンは高ボラティリティ(リスク)の局面に強い特徴があり、他資産と比較しても相対的に高い利回り水準となっています。

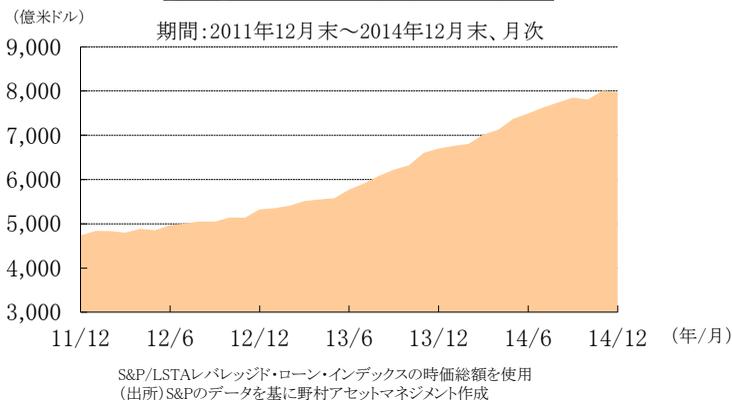
2015年は原油価格が下値を探る中、ボラティリティの高い環境を予想します。世界的な成長率の鈍化、欧州のデフレ圧力、地政学的リスクに対する懸念などをリスク要因と考えています。

一方、原油価格の下落は経済成長の下支え要因となるほか、足元アンダーパー(額面価格を下回る価格)のバンクローンが多いことから投資妙味があると見ています。

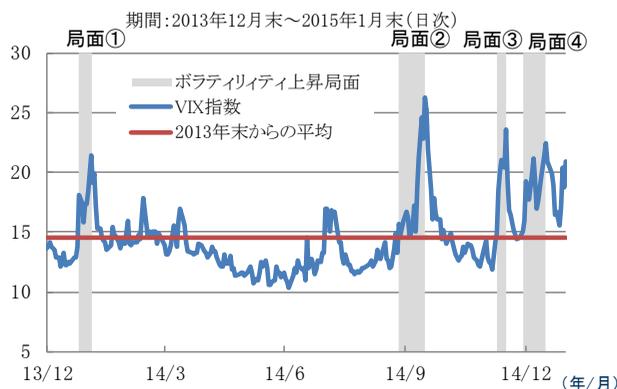
【図3】バンクローンの価格推移(米ドルベース)



【図4】バンクローン市場の時価総額



【図5】ボラティリティ(リスク)上昇局面におけるパフォーマンス



局面	期間	バンクローンの騰落率	米国ハイ・イールド債の騰落率	米国株式の騰落率
ボラティリティ上昇局面①	2014/1/24~2014/2/3	0.0%	-0.4%	-4.7%
ボラティリティ上昇局面②	2014/9/25~2014/10/15	-0.9%	-1.7%	-6.8%
ボラティリティ上昇局面③	2014/12/9~2014/12/16	-1.9%	-2.9%	-4.3%
ボラティリティ上昇局面④	2014/12/29~2015/1/15	0.3%	0.1%	-4.6%

使用した市場指数は、すべて米ドルベースです。  
・VIX指数は、シカゴ・オプション取引所が算出する、先物ボラティリティの市場予測を反映する指数で、市場の先行きに不安が生じた際に上昇する傾向があります。  
(出所)バンクオブアメリカ・メルリッチ、ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成  
データについては、6ページの「当資料で使用したデータについて」をご参照ください。

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー株式会社の情報を基に野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますので、この他に為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。

## ストラテジック・インカム/トータル・リターン戦略



- Amundi Singapore Limited
- Amundi London Branch

2015年の基本シナリオは、米国における景気回復、欧州の緩やかな改善とデフレ圧力、商品価格の下落など、2014年の方向性が継続すると考えています。

エマージング諸国については、現状での推移を予想していますが、アジアにおける外需、欧州における内需、南米における商品価格と政治などが不安要素です。経済規模が比較的大きいロシア、ウクライナ、アルゼンチン、ブラジルなどのリセッション(景気後退)の可能性についても注視しています。



Asset  
Management

- Goldman Sachs Asset Management LP
- Goldman Sachs Asset Management International
- ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社
- Goldman Sachs (Singapore) Pte

2015年は米国の経済成長が加速すると見えています。原油価格の下落によって、米国、中国などの石油輸入国や、米国やインドなどの消費主導型経済が最も恩恵を受けると考えています。

原油価格の下落がハイ・イールド債に与える影響を注視していますが、今後ボラティリティが高まり市場が混乱する局面においては、特に通貨やエマージング債券市場において投資機会があると考えています。

通貨配分戦略においてはユーロのショートポジション(売り建て)など、国別配分戦略においてはドイツのショートポジションに対するイタリアなど欧州周辺国のロングポジション(買い建て)などを構築しています。

NEUBERGER BERMAN

Neuberger Berman Fixed Income LLC

2015年は米国および英国経済は堅調に拡大する一方、ユーロ圏および日本の成長ペースは大幅に減速する可能性があると考えています。

リスクシナリオは、米国関連の経済指標が大きく悪化した場合などはリスクオフ(リスク回避)の動きが強まる可能性があります。

また、原油価格の下落が続いた場合は、短期的には、エネルギー関連企業の社債、ロシア、ベネズエラなどのエネルギー輸出国の債券などが軟調に推移する可能性があると考えています。

今後も「野村グローバルボンド投信(通貨選択型)」をご愛顧賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

以上

## 【当資料で使用したデータについて】

米国ハイ・イールド債: BofA・メリルリンチ・USハイ・イールド・コンストレインド・インデックス、ハイ・イールド債: BofA・メリルリンチ・グローバル・ハイ・イールド・コンストレインド・インデックス、バンクローン: S&P/LSTAレバレッジド・ローン・インデックス、投資適格社債: BofA・メリルリンチ・グローバル・コーポレート・インデックス) 米国長期国債: BofA・メリルリンチ米国10年国債インデックス、アジアハイ・イールド債: JPモルガン・アジア・クレジット・インデックス・ノン・インベストメント・グレード、エマージング債: JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル、欧州ハイ・イールド債: BofA・メリルリンチ・ヨーロッパ・ハイ・イールド・コンストレインド・インデックス、日本債券: NOMURA-BPI総合、米国株式: S&P500株価指数

●BofA・メリルリンチ・USハイ・イールド・コンストレインド・インデックス(BofA Merrill Lynch US High Yield Constrained Index)、BofA・メリルリンチ・グローバル・ハイ・イールド・コンストレインド・インデックス(BofA Merrill Lynch Global High Yield Constrained Index)、BofA・メリルリンチ・グローバル・コーポレート・インデックス(BofA Merrill Lynch Global Corporate Index)、BofA・メリルリンチ米国10年国債インデックス(BofA Merrill Lynch US Treasury, Current 10 year)、BofA・メリルリンチ・ヨーロッパ・ハイ・イールド・コンストレインド・インデックス(BofA Merrill Lynch European Currency High Yield Constrained Index)は、バンクオブアメリカ・メリルリンチが算出する指数です。当該指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利はバンクオブアメリカ・メリルリンチに帰属しております。●JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバルは、J.P.Morgan Securities LLCが公表している、エマージング・マーケット債を対象としたインデックスであり、その著作権および知的財産権は同社に帰属します。●JPモルガン・アジア・クレジット・インデックス・ノン・インベストメント・グレード(J.P.Morgan Asia Credit Index Non-Investment Grade)は、J.P.Morgan Securities LLCが公表している投資適格未満のアジア債券を対象としたインデックスであり、その著作権および知的財産権は同社に帰属します。●NOMURA-BPI総合(NOMURA-ボンド・パフォーマンス・インデックス総合)の知的財産権とその他一切の権利は野村証券株式会社に帰属しています。●S&P500株価指数は、スタンダード・アンド・プアーズが公表している株価指数で、米国の主要500社によって構成されております。当該指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利はスタンダード・アンド・プアーズファイナンシャルサービシズエルエルシーに帰属しております。

当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー株式会社の情報を基に野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等を実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますので、この他に為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。 6/9

(ご参考) 各戦略におけるマネージャー (運用会社) について

- 野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー (NFR&T) が選定した複数のマネージャー (運用会社) ※によって運用される外国投資信託を通じて、実質的に世界の債券および米ドル建てのバンクローンに投資します。 ※マネージャー (運用会社) とは、ファンドの投資対象ファンドである外国投資信託における副投資顧問会社を指します。
- マネージャーは、いずれも独自の投資スタイルを有する、各戦略の運用において実績のあるマネージャーです。

投資対象である外国投資信託の運用を担うマネージャー

(2014年12月30日現在)

ハイ・イールド債戦略

**AEGON**  
USA Investment Management, LLC  
エイゴン

**NCRAM**  
ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネジメント・インク  
NCRAM

バンクローン戦略

**GUGGENHEIM**  
グッゲンハイム

**SYMPHONY**  
ASSET MANAGEMENT  
シンフォニー

ストラテジック・インカム/トータル・リターン戦略

**Amundi**  
ASSET MANAGEMENT

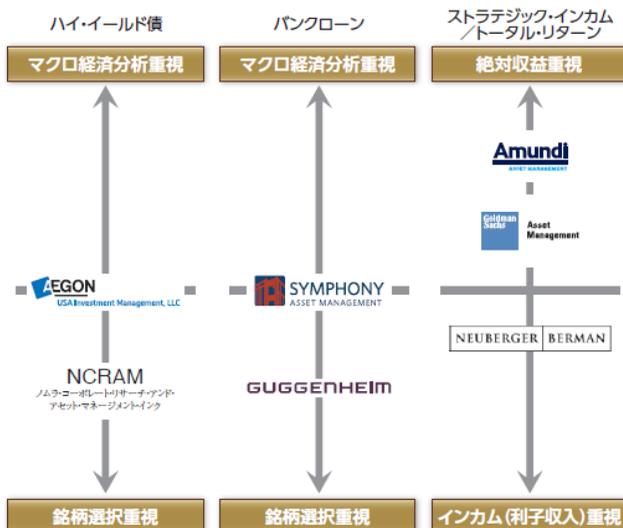
Goldman Sachs  
Asset Management

**NEUBERGER BERMAN**

アムンディ ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント ニューバーガー・バーマン

上記は、2014年12月30日現在の副投資顧問会社もしくはグループのロゴおよび名称などであり、投資顧問会社の投資判断その他の理由により、適宜増減および入替が行なわれる可能性があります。

各マネージャーの運用特性 (イメージ図)



上記は、2014年12月30日現在の副投資顧問会社の運用特性を項目別に簡易的に示したイメージ図です。

(出所) 各副投資顧問会社からのデータを基にNFR&T作成

<金利上昇に対し耐性のある資産>

ハイ・イールド債

- ・国債と比較して信用力は低いが、高い利回り
- ・国債との連動性が低い傾向

運用を担うマネージャー

**AEGON** USA Investment Management, LLC **NCRAM** ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネジメント・インク

リターン特性を  
高める補強

バンクローン

- ・市場金利に連動したインカム収入
- ・投機的格付だが、弁済順位が相対的に優先

運用を担うマネージャー

**GUGGENHEIM** **SYMPHONY** ASSET MANAGEMENT

<機動的な運用手法>

ストラテジック・インカム/  
トータル・リターン戦略

- ・セクター配分や金利、通貨戦略等を機動的に変更
- ・対市場指数ではなく、絶対収益\*を意識した運用

運用を担うマネージャー

**Amundi** **Goldman Sachs** Asset Management **NEUBERGER BERMAN**

\*一般に投資元本に対する超過収益のことを指します。

上記はハイ・イールド債、バンクローン、ストラテジック・インカム/トータル・リターン戦略に関する説明の一部であり、すべてを網羅したものではありません。

(出所) NFR&Tの提供情報を基に野村アセットマネジメント作成

資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

【ファンドの特色】

- 「野村グローバルボンド投信(通貨選択型)」は、投資する外国投資信託における為替取引手法、分配頻度の異なる6つのコース(Aコース、Bコース、Cコース、Dコース、Eコース、Fコース)から構成されています。
- 高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目指します。
- 高利回り事業債(ハイ・イールド債)を含む世界の債券※1および米ドル建ての企業向け貸付債権(バンクローン)を実質的な主要投資対象※2とします。  
※1 国債、政府機関債、国際機関債、社債など。ハイ・イールド債のほか、新興国の政府、政府機関もしくは企業の発行する債券(現地通貨建てを含みます。)等を含みます。  
※2 「実質的な主要投資対象」とは、外国投資信託や「野村マネー マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
- 円建ての外国投資信託「ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンド・グローバル・ボンド」および国内投資信託「野村マネー マザーファンド」を投資対象とします。  
・「ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンド・グローバル・ボンド」には、為替取引手法の異なる3つのクラスがあります。

各コース	各コースが投資対象とする外国投資信託の為替取引手法
Aコース、Cコース (米ドル売り円買い)	実質的な通貨配分にかかわらず、原則として純資産総額を米ドル換算した額とほぼ同額程度の米ドル売り円買いの為替取引を行いません。したがって、保有する実質的な外貨建資産について対円で為替ヘッジを行なうことを目的としていません。
Bコース、Dコース (為替ヘッジなし)	組入資産について、原則として対円で為替ヘッジを行いません。
Eコース、Fコース (米ドル売り選定通貨買い)	実質的な通貨配分にかかわらず、原則として純資産総額を米ドル換算した額とほぼ同額程度の米ドルを売り、選定通貨※(米ドルを除く)を買う為替取引を行いません。

※選定通貨は、投資対象とする外国投資信託の共同投資顧問会社を選定した通貨を指します。  
詳細は、交付目論見書の「各コースが投資対象とする外国投資信託の概要」の投資方針をご覧ください。

- ◆通常状況においては、「ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンド・グローバル・ボンド」への投資を中心としますが、投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびにファンドの資金動向等を勘案のうえ決定することを基本とします。  
※通常状況においては、「ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンド・グローバル・ボンド」への投資比率は、概ね90%以上を目処とします。

■外国投資信託「ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンド・グローバル・ボンド」の主な投資方針について■

- ・ハイ・イールド債※1を含む世界の債券および米ドル建てのバンクローン※2を主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目指します。  
※1 ハイ・イールド債とは、スタンダード・アンド・プアーズ社による格付がBB+以下、あるいはムーディーズ・インベスターズ社による格付がBa1以下の債券(格付のない場合は同等の信用度を有すると判断されるものを含みます。)をいいます。  
※2 バンクローンとは、事業会社等が事業の拡大等に必要資金を調達するために、銀行等の金融機関等から借入れるローンをいいます。  
・投資にあたっては、3つの投資戦略(「ハイ・イールド債戦略」、「バンクローン戦略」、「ストラテジック・インカム/トータル・リターン戦略」)に配分します。  
なお、1投資戦略あたりの配分比率は、原則として、純資産総額の25%以上50%以内に維持することを基本とします。

投資戦略	主な投資方針
ハイ・イールド債戦略	世界のハイ・イールド債を主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目指します。
バンクローン戦略	米ドル建てのバンクローンを主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目指します。
ストラテジック・インカム/トータル・リターン戦略	ハイ・イールド債を含む世界の債券を主要投資対象とし、高水準のインカムゲインとキャピタルゲインの獲得によるトータル・リターンの追求を目指します。

- ・バンクローンへの投資にあたっては、主として、変動金利型で、債券等に比べ弁済順位が高く、取得時においてスタンダード・アンド・プアーズ社による格付がBB+以下、あるいはムーディーズ・インベスターズ社による格付がBa1以下のもの(格付のない場合は同等の信用度を有すると判断されるものを含みます。)に投資を行いません。

- ◆運用にあたっては、野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー株式会社(NFR&T)に、運用の指図に関する権限の一部を委託します。  
・NFR&Tが、世界の債券および米ドル建てのバンクローンの運用を行なう副投資顧問会社の選定と、各副投資顧問会社が運用する信託財産の配分比率を決定します。  
・副投資顧問会社の選定にあたっては、運用体制や運用プロセスなどに対する独自の定性評価を重視し、各投資戦略の運用において優れていると判断した運用会社を選定します。  
・NFR&Tは選定した副投資顧問会社およびファンド全体のリスク特性の状況を絶えずモニターし、必要に応じて各副投資顧問会社が運用する信託財産の配分比率の変更や副投資顧問会社の入替を適宜行ないます。

投資戦略	副投資顧問会社	運用の再委託先
ハイ・イールド債戦略	・Aegon USA Investment Management, LLC	—
	・Nomura Corporate Research and Asset Management Inc.	—
バンクローン戦略	・Symphony Asset Management LLC	—
	・Guggenheim Partners Investment Management, LLC	—
ストラテジック・インカム/トータル・リターン戦略	・Amundi Singapore Limited	—
	・Amundi London Branch	—
	・Goldman Sachs Asset Management LP	—
	・Goldman Sachs Asset Management International	
	・ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社	
・Goldman Sachs (Singapore) Pte	—	
	・Neuberger Berman Fixed Income LLC	・Neuberger Berman Europe Limited ・Neuberger Berman Singapore Pte Limited

・出所: NFR&Tの情報に基づき野村アセットマネジメント作成  
・上記の各副投資顧問会社は、平成26年12月30日現在のものであり、投資顧問会社の投資判断その他の理由により、適宜増減および入替が行なわれる可能性があります。

【ファンドの特色】

- 各コースはファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。
  - 「野村グローバルボンド投信(通貨選択型)」を構成する「年2回決算型」のファンド間および「毎月分配型」のファンド間でスイッチングができます。
  - 分配の方針
    - ◆年2回決算型(Aコース、Bコース、Eコース)  
原則、毎年2月および8月の6日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。  
分配金額は、分配対象額の範囲内で、基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。
    - ◆毎月分配型(Gコース、Dコース、Fコース)  
原則、毎月6日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。  
分配金額は、分配対象額の範囲内で、委託会社が決定するものとし、原則として、利子・配当等収益等を中心に分配を行なうことを基本とします。ただし、基準価額水準等によっては、売買益等が中心となる場合があります。なお、市況動向や基準価額水準等によっては、分配金額が大きく変動する場合があります。
- \* 委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。
- 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

【投資リスク】

各ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、債券およびバンクローン等を実質的に投資する効果を有しますので、金利変動等による当該債券およびバンクローンの価格下落や、当該債券およびバンクローンの発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 平成36年8月6日まで(平成26年8月11日設定)
- 決算日および収益分配 【年2回決算型】(Aコース、Bコース、Eコース)  
年2回の決算時(原則、2月および8月の6日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。  
【毎月分配型】(Gコース、Dコース、Fコース)  
年12回の決算時(原則、毎月6日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 一般コース:1万円以上1万円単位(当初元本1口=1円)  
または1万円以上1円単位  
自動かけ投資コース:1万円以上1円単位  
※お取扱いコース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- スイッチング 「年2回決算型」(Aコース、Bコース、Eコース)のファンド間および「毎月分配型」(Gコース、Dコース、Fコース)のファンド間でスイッチングが可能です。  
※販売会社によっては、一部または全部のスイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- お申込不可日 販売会社の営業日であっても、申込日当日が下記のいずれかの休業日に該当する場合または12月24日である場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。  
・ニューヨーク証券取引所 ・ニューヨークの銀行  
・ロンドン証券取引所 ・ロンドンの銀行  
・ルクセンブルグの銀行
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

(2015年2月現在)

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.24%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.08%(税抜年1.00%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 ○実質的にご負担いただく信託報酬率 <sup>(注1,2)</sup> ・A、B、C、Dコース:1000億円以下の部分 年1.96%程度(税込) 1000億円超の部分 年1.91%程度(税込) ・E、Fコース:1000億円以下の部分 年2.11%程度(税込) 1000億円超の部分 年2.06%程度(税込) (注1)ファンドが投資対象とする外国投資信託の全クラスの合計の純資産総額に応じた率となります。 (注2)ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。
◆その他の費用・手数料	組入価額に投資の際に発生する売買委託手数料、ファンドに関する租税、監査費用等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額(ご換金時、スイッチングを含む)	1万円につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。  
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

◆お申込みは

野村証券

商号:野村証券株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号  
加入協会:日本証券業協会/一般社団法人日本投資顧問業協会/  
一般社団法人金融先物取引業協会/  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

◆設定・運用は

野村アセットマネジメント

商号:野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
加入協会:一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先:野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ ☎0120-753104

(受付時間)営業日の午前9時~午後5時



★インターネットホームページ★

http://www.nomura-am.co.jp/



★携帯サイト★

http://www.nomura-am.co.jp/mobile/



当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー株式会社の情報を基に野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますので、この他に為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。